



大町市立大町中学校 学校だより

自立した学び手となる

令和5年12月1日

磨こう “わたしの人権感覚” 人権教育月間

11月の「人権教育月間」が終了しました。取り組みの様子を紹介いたします。



11/1 人権集会で課題を共有



花田養護学校 高等部3年 小林さんの講演



11/8 人権教育授業公開



11/22 花田養護学校 胡桃先生の講演



11/29 楽団「ケ・セラ」コンサート

この月間では、「自他の良さや違いを認め合いながら、支え合って人権問題に立ち向かう生徒の育成」をテーマに上記の学習を行ってきました。ご協力いただいた皆様に感謝するとともに、今後も全教育活動を通じて人権感覚を磨き続けていきます。以下、3年生の感想を紹介します。

- いくつかの曲を聴いてすごく上手で19人全員がすごく楽しそうに演奏していていいなと思いました。他にも演奏する中、障がいがある若者たちが音楽を通じて社会的に活躍しているのがすごく大変なことだけど、それができていることに感動しました。これからもたくさんの活躍を祈っています。
- ケ・セラの方たちは楽しんで演奏しているように感じた。音楽を通してみんなが明るい気持ちになった。5月のコンサートも参加したいと思った。また、このコンサートで障がいがある方々もみんな同じで特別ではないということを改めて実感することができた。
- 人権教育月間を終えて、障がいがある方々は私たちと特に変わらない。1人の人間だということがよく分かった。持っている特徴に合わせた、合理的配慮が必要な場合もあると思うので、多くの人の理解や受け入れる心が必要になる。しかし、配慮過剰にすることで配慮されている方が嫌な気持ちになることは避けなければならない。だから、特徴に合わせた配慮をしすぎず、しなすぎず、が大切だと思った。人は必ず何か特徴を持っているので、周囲と協力して社会をつくるのが大切。
- 人権教育月間では、障がいがある方々に対しての行動や発言、また、人と人といじめの関係性についてふり返りをすることができました。具体的には、障がいがある高校生が来てくださり、その生活や、今までのキャリアについてぼくたちも知ることができ、また、この学校でのいじめのことについてもふれることができました。そして最も重要なことは、この11月という1ヶ月だけ人権のことを考えるのではなく、ずっとこの考えを持ち続け、人権という内容を意識して生活することだと思います。

全国学力・学習状況調査の結果について (4/18 3年生対象に国語・数学・英語で実施)

今年度の標記調査では、国語・数学・英語いずれも平均正答率で全国とほぼ同程度か、やや下回る結果となりました。この結果をもとに、各教科における成果と課題を以下のように考えています。

国語…対話形式の出題など、文脈性のある問題についての正答率が高い。⇒具体的な文脈の中で、必要感をもって多様な語彙を駆使できるような活動を仕組んでいく。

数学…思考判断表現を評価する単元レポートを実施してきたことから、何とかして表現しようと粘り強く取り組む生徒が増えた。家庭学習での知識・技能の定着を図る。⇒数学の用語を正しく用いた振り返りの記述やレポート作成に取り組んでいく。

英語…適語を選択する問題や短めの文章の読解問題、リスニングの力がついてきている。⇒学び直しの時間を活用して重点的な英作文指導に取り組んでいく。

年度当初、新しい大町中学校職員全員でガイドラインの理念の共通理解を図り、協働の学びを軸とした授業を推進しています。大きな意識の差がなく取り組めているのは、学校再編を進める中で、共通ガイドラインの下、一中と仁中で協働の学びに取り組んできた成果であると捉えています。

学期末には、学び直しを実施したり、学びの集会、生徒と先生による学びづくり委員会も実施したりしています。引き続き生徒自身に自立した学び手としての自覚を継続して促していきます。

また、**生徒質問用紙**にて、生活習慣や学習の様子、自己有用感など、72の質問が実施されました。全国平均を大きく上回った主な項目(大町中学校生の強み)は以下の通りです。

- ・困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる。
- ・昼休みや放課後、学校が休みの日に、本を読んだり、借りたりするために、図書館に行く。
- ・住んでいる地域の行事に参加している。
- ・自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表している。
- ・課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる。
- ・各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っている。
- ・自分の考えが伝わる文章になるように根拠を明確にするために必要な情報を資料から引用している。
- ・総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる



特に今回の質問において、本校が全国平均との差で最も高い数字を示したのが「住んでいる地域の行事に参加している」でした。本校の生徒は地域とのつながりを大切に生活している様子が伺えます。総合的な学習の時間に地域へ出たり、地域から人材を招いたりして学ぶなど、本校の特色である地域に開かれた教育課程をさらに推進していきたいと考えています。

お知らせとお願い

- ・登下校時に生徒を送迎する場合の駐車場について、ご配慮をいただきありがとうございます。混雑と安全確保のため、バスロータリー等、指定の場所をご利用ください。生徒の安全確保とトラブル防止のため、商業施設やJRの駅などの公共施設での乗降は控えください。

大町中ホームページ 
担当 柳澤 誠(教頭)

